

KWACHA

NO. 47

***** 2012.3.28 発行*****

Kwacha (クワチャ) はチェワ語で「夜明け」を意味します。

編集・発行：日本マラウイ協会
〒106-0047 東京都港区南麻布 5-2-39
ニュー東和ビル 503 号室 国際協力サロン気付
Tel. 03-3447-2921 Fax 03-5798-4269
Home Page <http://www.joca.or.jp/malaw/malawi-j.htm>
E-mail japan-malawi@auone.jp

【マラウイ共和国】

面積：118,484 平方 km (日本の約 1/3)
人口：1490 万人 (2010 年世界銀行)、首都：リロングウェ
独立：1964 年 7 月 6 日、公用語：英語、チェワ語
政体：共和制、大統領：ピング・ワ・ムタリカ
為替レート：1 US\$ = 166.681MK (マラウイ クワチャ)
1 MK = 0.48円 (3月3日現在)

【日本マラウイ協会 (Malawi Society of Japan)】

日本とマラウイ両国間の理解を深め、文化、スポーツ、経済、科学技術等の協力を通じ、相互の繁栄に寄与することを目的とする任意団体です。趣旨をご理解の上、広く各位の入会を希望します。会員数：252人(3月3日現在)



マラウイ共和国 国旗



イベント グローバルフェスタ2011

マラウイ母の会 佐藤 順子

2011年10月1日(土)、2日(日)日比谷公園で、グローバルフェスタ2011が開かれました。グローバルフェスタは国際活動を行う政府機関、NGO、企業などが一堂に会す国内最大の国際協カイベントです。民族衣装を着た人やローカル料理のスパイシーな匂いに満ちた会場は大勢の来場者で賑わい、さまざまな講演やワークショップが開かれます。

私達は、2006年から日本マラウイ協会のメンバーとして、チテンジを使った母の会手作りのトートバッグ等を販売させていただいています。チテンジのカラフルなデザインが人目を惹いて評判が良く、最近では「去年も買ったのよ」というリピーターまでつくようになりました。バッグを選ぶ人に混じって、元隊員や、家族、マラウイに関心を持つ人が次々にテントを訪れて話しこんでいたり、差し入れがあったりで、グローバルフェスタは毎年お祭り騒ぎの二日間となります。今回はNgwenya駐日マラウイ大使がご家族とともに日本マラウイ協会のテントに立ち



▲日本マラウイ協会のテント

寄られ、陽気に会話を楽しみ、記念撮影という一幕もありました。大使ご一家は、チテンジバッグやシュシュを大変気に入られ、何点もお買い上げくださいました。

壮行会や見送りの空港などで出会った留守家族が声をかけあい、情報交換することから始まったのが母の会です。その後、派遣中の隊員を通

して現地の様子や国際協力の実情を知るようになるに従い、「日本にいる私たちにも、何かできないかしら？」という意識が生まれてきました。そこで、日本マラウイ協会に相談した結果、グローバルフェスタ等への参加が実現したという次第です。チテンジバッグの販売収益を元に、これまでに隊員の活動支援として6件：計42万8800MKの寄付金を送り、女子教育、幼児への給食、エイズ予防活動のための自転車、パーマカルチャーのワークショップ、村の女性グループへミシン寄贈と、多岐にわたる活動に役立ててもらいました。

これを励みに、これからも活動を続けていきたいと思いますが、材料のチテンジは日本での入手が難しく、OVや職員、関係者の寄付に頼るしかない実情があります。もしもお宅に眠っているチテンジが1枚でも2枚でもありましたら、母の会にお送りくださると幸いです。必ず無駄なく活用させていただきます。

送り先 (事前にご連絡いただければ着払い可)

〒144-0046 東京都大田区東六郷 1-21-12
佐藤 順子 TEL 03-3732-4962



▲会場入り口のアーチ

レポート

マラウイ近況

JICA 専門家 錦織 明

(中規模灌漑開発プロジェクト:業務調整/普及)

マラウイに赴任して5ヶ月が経ちました。

生活用品は南ア系の大型店が先進国並みの品揃えなので助かっています。

なくて困るのは車の燃料です。近頃は街中に一滴も燃料がないのが「正常」とすら思えます。入荷の噂があるスタンドには徹夜で車が並び、給油が始まればさすがのマラウイ人も殺気立っています。普通、360MK/lの軽油が、450MKぐらい、ガソリンだと380MKが700MK前後で取引されることもあるとききます。車を持つのも大変です。



▲ガソリンスタンドの様子

そういえば、ガスで料理をと思いましたが、シリンダーが在庫切れで買えませんでした。電気事情が改善したので、まあ、いいですけど。

燃料問題や急な物価上昇の原因は外貨の不足ですが、おかげで前述の大型店が撤退する噂さえあって、困ったものです。物価上昇は物によって違うのですが、数日前に1250MKだったA4用紙が今日は1650MKだったりします。ちなみに写真の床屋さんには100MKを払っていますが、外国人料金なのかどうかはわかりません。



▲街の床屋さん

今日は一週間ぶりの青空。そして幸運にも車を満タンにできたので小さな幸せを感じつつ、プランタイアからお伝えいたしました。

投稿

第5回マラウイ剣道大会のご報告

H3-3 栄養士 中川 総 (マラウイ剣道OB)

マラウイ剣道協会のオースティン・ソンバ氏より昨年12月11日、プランタイアのユースセンターにて第5回剣道大会が日本大使館、JICAマラウイ事務所および青年海外協力隊員の協力の下、開催されたとの報告と沢山の写真が届きました。写真の一部を今回、投稿させて頂きます。マラウイ剣士もさることながら、協力隊員の皆様も、本当に良い笑顔で楽しそうなのが印象的です。

ちなみに、当日は28名が参加、個人戦はマラウイ人のダンカ選手が優勝、マラウイ人対日本人の団体戦は日本人チームが辛くも勝利したとの事です。



▲ダンカ選手への表彰状

今年はマラウイで剣道が始まって20周年を迎えます。本物の剣道隊員が不在の中、灯を消すこと無く小規模ながら地道にコツコツと剣道を愛し、続けてくれている彼ら、そして現地で彼らに対し誠意を持って交流して下さっているJICA/JOCVの皆様には本当に感謝の気持ちで一杯です。

今後とも、微力ではありますがマラウイ剣士達へのサポートを日本から続けていきたいと思えます。皆様の彼らに対する御支援、御協力の程を宜しくお願い致します。



▲表彰授与式



▲試合の様子



▲剣道大会に参加した協力隊員達



▲第5回剣道大会終了後の記念写真

ニュース

最近の報道から

■ 司法職員、無期限ストライキ

1月9日付けのBBC World News(<http://www.bbc.co.uk/news/world-africa-16473833>)によると、司法職員が6年前に約束された賃上げを求めて9日から無期限ストライキに入った。法務大臣を含む政府高官は賃上げ交渉のために閉じ込められている。

職員達の給料は月平均100米ドルであるが、政府は2006年に40%、2009年に50%の賃上げができないままである。彼らは要求が通るまでストライキを続けると断言した。

職員スポークスマンのオースティン・カマンガ氏は「我々はボランティアではない。従業員である。これは2006年に承認された条件であり、それ以来、ずっと言い続けていることだ。あとどのくらい言い続けなければいけないのか?」と述べた。

ボランティアのBBC記者によると、職員たちは事件、訴訟の裁判・法廷への割り当て事務などで重要な役割を担っており、全国の司法事務はストライキの初日から行き詰まっている。

■ 大統領、女性の服装自由を強調

1月19日付けのBBC World News (<http://www.bbc.co.uk/news/world-africa-16635409>)によると、17日にリロングウェ、18日にムズズで起きたズボンなどの非伝統的衣装を着た女性を集団が襲った事件を受けて、ムタリカ大統領は国営ラジオを通じ、「ズボンを着用した女性を襲った者は誰でも逮捕せよ、と警察に指示した」と述べた。警察は既にリロングウェやブランタイアで、襲撃した露天商などを逮捕したと発表した。

大統領は「ズボンをはいた女性や少女を路上で襲い脱がすのは違法である。私はそのような行為をする誰をも許さない。女性たちは着たいものを着る自由がある。ズボンを着たい人はそうすればいい」と述べた。

マラウイは1994年までのカムズ・バンダ政権下では、女性がズボンやミニスカートを着ることも、男性の長髪は禁止されていた。

■ マラウイ南部で洪水

1月25日付けのBBC World News (<http://www.bbc.co.uk/news/world-africa-16724916>)によると、マラウイ南部のンサンジェで降雨によりシレ側が氾濫し、道路や橋が流された。死者は報告されていないが、24日に軍のヘリコプターによる救出が始まり99人が安全な場所に搬送された。約2500人は自力で高台に避難したが、数千人は洪水地域に点在する被害のない区域に取り残されている。マラウイ政府は学校や教会に避難している約5000人に対し、食糧や水浄化の錠剤を配給した。

隣国のモザンビークでもここ数日間の猛烈な雨で少なくとも24名が死亡した。

■ マドンナが10校の建設資金拠出

米人気歌手マドンナ(53)が設立した慈善団体「レイジング・マラウイ」のウェブサイト (<http://www.raisingmalawi.org/>)やライター電によると、マドンナは1月30日、米NPOのBuildOnにマラウイ国内に学校を10校建設する資金を拠出すると発表した。最初の学校は中部のカスングに今年3月末までに建設、2013年6月末までにすべての学校が建設される予定。少なくとも年間1000人の子どもの受け入れが可能になるという。

BuildOnは1991年設立、これまでに全世界で427校、このうちマラウイで54校を建設した実績を持っている。

■ 違法営業の露天商人取り締まり

2月8日付けの外務省海外安全ホームページ (<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo.asp?infocode=2012C042>)によると、2月6日、リロングウェ第2区オールドタウンにて違法営業の露天商人に対する一斉取締りが行われた。これに不満を持つ露天商人が暴徒化し、警察官、軍隊との間で衝突が起こり、付近の商店やミニバス等に投石や焼き討ち等を行い、略奪行為などが発生した。当局の発表によれば、この暴動で45人の逮捕者が出ている。また、ミニバス乗車中の邦人旅行者がこの暴動に巻き込まれている。

■ 価格上昇と不気味に迫るメイズ不足

国連のIRINニュース(Integrated Regional Information Networks, <http://www.irinnews.org/>)は2月9日、掲題の記事を掲載した。

マラウイ中南部では、今シーズンの雨の降り方が例年通りではなかったため、地域によっては小規模農家が作付に失敗し2回目の植え付けを行ったこと、また使用した種子が良質でないこと、生育がまだ初期の段階であり4-5月の収穫期に間に合わないことから、十分な収穫が見込めないと懸念されている。一方で、UNICEF(国連児童基金)による1月31日付けの情報更新では、これまで不順な降雨ではあったが、3月末から4月初旬まで雨が続けば順調な収穫が見込めるとの楽観的見方もあり、微妙な状況である。

2011年末4ヶ月でメイズの価格は燃料と外貨不足により60%以上高騰した。南部での価格上昇はさらに加速するかもしれない、都市部貧困層の栄養状態悪化が懸念される。

■ アフリカ8ヶ国の政府高官研修

2月9日付けの神戸経済新聞 (<http://kobe.keizai.biz/headline/958/>)によると、ICT(Information and Communication Technology)技術者の育成を目指すIT専門職大学院「神戸情報大学院大学」で2月5日からアフリカ8ヶ国の政府高官らを受け入れた研修「ICT活用による開発課題解決」が始まった。

研修に参加しているのはマラウイ、ボツワナ、エチオピア、ガーナ、ナイジェリア、ルワンダ、タンザニア、ウガンダ各国2~6人で、主にITを活用して業務を行う行政官、政策担当など29人。

医療、農業、産業振興、行政サービスの効率化、教育など自国の課題を持ち寄り解決法を導くことを目的としている。

今回はJICA兵庫国際センターが同講座を評価し同大学院に委託。3月17日までの42日間研修を行う。

■ マドンナ計画にマラウイ当局不快感

2月23日付けの英ガーディアン紙 (<http://www.guardian.co.uk/music/2012/feb/23/madonna-schools-pledge-angers-malawi-officials>)によると、米歌手マドンナ(53)が先月末にマラウイ国内への学校建設計画を発表したことに対し、教育科学技術省次官のジョン・ビシカ氏はガーディアン紙の取材に「書面や口頭による連絡は何もなく、新聞で読んで初めて知った。政府に何も連絡せず、新聞社に“学校を建設します”と伝えるというやり方はおかしい」と述べた。

ビシカ氏はまた、「いつ作るのか、どこに必要なのか、我々と調整して行く必要がある。私がイギリスに行くと、彼女と建築内容を調整して建設を始めるようなことはないだろう。彼女から我々にアプローチしてもらい、どこに学校が必要か策定する必要がある。我々を通さないのであれば、建設を進めるのを許すわけにはいかない。もっと適切にやろうではないか」と述べた。

彼女の最初の計画である「リロングウェ郊外に約400人の女学生のためのアカデミー建設」は、1つの煉瓦を積むことなく、昨年破綻した。

■ ムタリカ大統領78歳の誕生日

2月24日のZodiak Online Newsによると、パトリシア・カリアティ情報大臣(女性)は、78歳を迎えたムタリカ大統領のためにハッピーバースデーの歌を歌うことを受け入れたと、Zodiakの記者とのインタビューの中で伝えた。

歌の中で大臣は、大統領の幸福と長命を望んだ。また大臣は、他に特別な行事はなく、大統領は静かに誕生日を祝うであろうと述べた。

昨年の誕生日には、大統領自らリロングウェのCivoスタジアムで誕生日を祝う饗宴を催し、様々なショーを繰り広げていた。

■ 2040年までの人口予測~3800万人

2月24日付けのマラウイDaily Times (<http://www.bnltimes.com/index.php/daily-times/headlines/national/4611-population-boom-scares-mps>)によると、マラウイ家族計画協会は22日、国会の健康・人口委員会でマラウイの人口傾向予測とそれが健康、教育、農業環境、経済の各分野の開発にどのような影響を与えるかを示すツールを発表した。

それによると、出生率が女性1人あたり6人、2040年までの人口が現在の3倍の3800万人に達し、12000の学校、13000人の看護師、2475のヘルスセンター(診療所)、160万人分の追加雇用が必要になるという。

同委員会議長のポール・チピング氏は委員の

国会議員に対し、国の発展と人々の健康のために家族計画の利益について自分たちのコミュニティに気づかせることをリードすべきだろうと述べた。また議長は国の人口削減のために同協会に

よって提供された家族計画の必要性だけでなく、少女たちへの教育の必要性を全国会議員に伝え

るとした。

日本マラウイ協会 2011年9月～2012年2月 主な活動内容

- | | |
|-----------------|----------------------------|
| (1) 2011.9.28 | 9月定例会 |
| (2) 2011.10.1-2 | グローバルフェスタ 2011 出展 (1面記事参照) |
| (3) 2011.10.19 | 10月定例会 |
| (4) 2011.11.30 | 11月定例会 |
| (5) 2011.12.21 | 12月定例会、納会 |
| (6) 2012.1.23 | 1月定例会、倉庫整理 |
| (7) 2012.2.29 | 2月定例会 |

日本マラウイ協会情報

■ 当会への郵便物宛先変更

平成24年4月1日より当会への郵便物宛先を右の入会方法等に記載のとおり変更します。ご注意ください。これは、これまでの気付先であった JOCA 青年海外協力協会が3月末で移転することとなったことによるものです。電話、FAX、E-mailは変更ありません。

■ 第30回通常総会のご案内

日本マラウイ協会は第30回通常総会を別紙の通り開催します。会員の皆様は同封の葉書にて出欠をご連絡下さい。

■ インターネットでラジオ番組

インターネットでマラウイのラジオ番組を聞くことができます。ZODIAK ONLINEというサイト <http://www.zodiakmalawi.com> で画面右上の「LISTEN LIVE」と書かれたボタンをクリックするとチェワ語のトークやマラウイの音楽が流れます。このラジオ局はリロングウェで95.1MHzで放送している Zodiak Broadcasting Station というFM局。マイクロソフトの Silverlight というソフトのインストールが必要ですが、入ってなければダウンロードを促す画面が出てきます。また、画面の左側ではマラウイのニュースも読めます。

■ KWACHAバックナンバー

当会は2012年2月26日に設立29周年を迎えましたが、設立時の機関紙 KWACHA 第1号から第47号(今号)までの全バックナンバーをPDFファイル化し、当会ホームページに掲載しています。是非ご覧下さい。 <http://www.joca.or.jp/malaw/malawi-j.htm> から「日本語」を選択、左端のメニューから「機関紙KWACHA」をクリックすると、右ページに号数一覧が出てきますので、希望の号数をクリックしてください。

■ 日本マラウイ協会の刊行物

(1) マラウイ旅行ガイド新訂第2版(97年7月発行)「アフリカの暖かき心、湖とサバンナの大地へ」B5版108ページ1部1,200円(送料210円)

(2) 国情紹介誌「Malawi - The Warm Heart of Africa」第2版(94年7月発行)A4版40ページ1部1,000円(送料210円)

送料は「ゆうメール(旧冊子小包郵便物)」扱いで表示しています。上記2種類を1冊ずつご注文の場合は次のとおりです。

(1)+(2) = 290円

購入ご希望の方は、本ページ最後の入会方法の欄に記載の銀行口座宛

に、代金および送料をお送りください。

●送金される場合は、事前に必ず注文内容(希望する「刊行物名」、「部数」、「発送先」、「申込者の氏名、電話番号」)をメールまたは FAX でご連絡ください。

■ ご意見、ご質問をどうぞ

日本マラウイ協会に対するご意見、ご要望、ご質問などありましたら、下記当協会宛へご遠慮なくお寄せください。また、電子メールによるマラウイ関連情報の配信も行っておりますので、電子メールアドレスをお持ちで、ご希望の方は、あわせてご連絡ください。

■ 日本マラウイ協会 月次定例会

日本マラウイ協会では、原則毎月第3水曜日18:30～に、東京都内(通常はJICA広尾地球ひろば会議室)で、月次定例会を開催し、マラウイ関連の支援活動などについての討議や、マラウイ関係者間の情報交換などを行っております。参加は会員でなくても構いません。初めての方も大歓迎です。詳しくは当協会までお問い合わせください。

■ 日本マラウイ協会 入会方法等

入会申込書を当会ホームページからダウンロード (<http://www.h4.dion.ne.jp/~malawi/application.doc>) し、各項記入の上、E-mail添付で当会へお送り下さい。E-mailで入会希望の旨を連絡くださっても構いません。また、入会金と年会費の合計(個人正会員の場合1,000円+3,000円=4,000円)を下記のいずれかの銀行口座へお送りください。また、継続会員の方の年会費(個人正会員の場合3,000円)は、E-mailまたはFAXでご連絡の上、お送りください。

〒106-0047 東京都港区南麻布5-2-39 ニュー東和ビル503号室

国際協力サロン気付 日本マラウイ協会

TEL: 03-3447-2921 FAX: 03-5798-4269

E-mail: japan-malawi@auone.jp

(1)三菱東京UFJ銀行 東恵比寿支店 普通口座255739

口座名義：日本マラウイ協会事務局 貝塚光宗

(2)ゆうちょ銀行 〇一九店(ゼロイチキユウ店)

当座預金口座 0013125

口座名義：日本マラウイ協会

(ゆうちょ銀行から送金する場合は、口座番号：00190-7-13125)